

前々から興味があったのですが、某店店頭で見かけて買ってみた(2009/12 中旬)ところ、かなりトホホな体験をしたので、同様の目に遭われた方のためにメモします。

付属していた CD は BN25、この記事を書いたときの最新 CD が BN28 で、すでに V3.80 のファームウェアが書き込まれた製品でしたので、さほど古い機体ではないと思います。

かなりネガティブな書き方になっていますが、私の Primer2 に対する無知と偏見によるものです(笑)

Ride(RLink) でプログラムを書こうとするとブルースクリーンで落ちる

WindowsXP SP3 環境で RLink を使おうとすると、windrvr6.sys がどーたらこーたら言ってブルースクリーンで落ちました。

同様の症状が出る場合は、<WindowsSystem>\System32\Drivers の下の windrvr6.sys のバージョンないしはサイズをチェックしてみてください。

サイズないしはバージョンが Ride のインストールフォルダの下の \Ride\Driver\RLinkDrv\Jungo_WinDriver_2000_NT_XP に存在する windrvr6.sys と異なる時には、これが原因の可能性あります。

根本的解決には程遠いですが、

0) Primier2 との接続 USB ケーブルを外してください。

1) システムフォルダのドライバを適切な名前にリネームして「保存」します。この問題がでるということは、他にも Jungo の Windriver を使う環境をお持ちでしょうから、あとで戻すためです。

2) \Ride\Driver\RLinkDrv\Jungo_WinDriver_2000_NT_XP に存在する windrvr6.sys をリネームしたドライバの代わりに放り込みます。

3) リブートしてから、再度書き込みを試してみてください。

これでブルースクリーンから解放されれば、とりあえず開発はすすめられます。

突然メニュー選択が速くなったり、フリーズしたりする

理由はわかりませんが、どうも電源に由来する問題のような気がします。この症状がでるのは、私の環境では内蔵バッテリーで駆動した場合に限られるからです。

ほかにも、「この状態」のときには CPU 速度 4 を選択 (OS V3.80) するとフリーズしたりします。電源 ON 時に白い画面のまま固まったりすることもあるようです。

十分充電できている表示 (緑 LED) にもかかわらず発生します。電圧の問題だとすると、充電回路かバッテリーに欠陥があるハズレ品を引いたのかもしれませんが。

USB を接続して、ハードリセット (バッテリーのところのジャンパをはずす) をするとこれらの問題は一旦解消しますが、これでは使い物になりませんね > < ;